地域づくり新聞 ～高橋東二区～

平成28年10月発行
No.3

高橋東二区町内会インタビュー

たがさぽスタッフの説明に耳を傾ける皆さん／高橋地区生活センター

平成28年9月5日、多賀城市市民活動サポートセンター（以下、たがさぽ）のスタッフが高橋地区生活センターにおじゃまし、佐藤亨（とおる）区長さんをはじめとする役員さん、民生委員さんなど7名に町内会活動や地域の状況について、インタビューさせていただきました。

たがさぽは、町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域で活動する団体、個人を応援する施設です。今回、伺った町内会活動や地域の状況は、貴重な参考事例として、多賀城の地域づくりに活かして参ります。

気軽にクリック！ブログで町内会がれわかり

高橋東二区では、住民の皆さんが町内会活動に参加しやすくするため、卓球、健康麻雀、お茶っこ飲み会などの行事を多数行い、さまざまな世代が気軽に交流できる機会をつくっています。それらの行事の案内や活動の様子は、「ブログ」や全戸配布している「町内会新聞（毎月発行）」で、住民の皆さんに発信しています。特に「ブログ」は写真が多く、活動の様子が分かりやすいと評判です。好きな時に見られるので、町内会活動がとても身近に感じられるようです。

さまざまな千ヤレンジ町内会活動が活発なワケ

行事の活動資金は町内会費だけではなく、東二区のお店からの協賛金や寄付金の協力を得ています。また、町内会活動を対象とした民間の助成金に申請するなど、町内会を盛り上げるためにさまざまなチャレンジをしています。

佐藤区長は、日頃からお店へのあいさつや対話などのコミュニケーションを通し、町内会活動への理解を深めてもらっています。こうした顔の見える関係が、町内会活動への協力を生み、活発な町内会活動につながっています。

一緒に考えたい

これからの地域

世代を越えた交流をめざして

高橋東二区には、戸建て、アパート、商店街などがあり、多世代が生活しています。そのため、世代の違う家同士の交流がしにくかったり、アパート暮らしの方との交流がなかなかもてなかったりと、「ご近所づきあいがしにくい」と心配している方もいるようです。子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域にするためには、住民同士の交流が生まれ関係性が育まれるように、さまざまな取り組みに挑戦しています。

たくさんの行事が行われている高橋東二区ですが、「行ったことがない」「知り合いがいない」など参加するまでのハードルが高いと感じる方もいるかもしれません。役員さんは積極的にクチコミすることで、一人でも多くの方に参加してもらえるよう、「町内会活動の楽しさを広めています」との声が聞かれました。それぞれができる関わり方で、どんな世代も楽しめるようにと、日々取り組んでいます。

評判の 高橋東二区町内会ブログ 検索

URL http://thigashi2.exblog.jp/

・この四コママンガは、地区のみなさんから伺ったお話を参考に、たがさぽスタッフが制作しました。
・たがさぽちゃんは、たがさぽのイメージキャラクターです。

みんなの高橋地区生活センター

高橋地区生活センターは、東一区・東二区・北区・南区の4区の町内会が共同で利用しています。昨年度の利用者総数は約12000人で、町内会、子ども会、サークル活動など、年間で約50団体が活動する拠点になっています。目の前には公園もあり、子どもたちが遊ぶ姿もみられます。

公園が目印の高橋地区生活センター

多賀城市市民活動サポートセンター（たがさぽ）ってどんなところ？

町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域づくりのために活動する人たちの拠点施設です。
市民の力による、地域の「困った」を解決する活動やまちの魅力を高める活動をサポートしています。

発行：多賀城市市民活動サポートセンター 〒985-0873 多賀城市中央２丁目 25-3（多賀城市文化センター北隣、上水道部向い）
電話：022-368-7745 FAX：022-309-3706 編集：NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター